クラス別の建築・改築工事実施時の感染対策の実施内容

	建築工事期間中に実施すべき感染対策	建築工事完了時に実施すべき感染対策
クラスⅠ	1. 建築作業に伴う塵埃の発生を最小限にとどめるための対策を実施する 2. 目視検査のために外したタイルを速やかに元に戻す	1. 作業完了時には作業環境の清掃を徹底する
クラスⅡ	1. 空中に発生した塵埃が大気に分散するのを防ぐための積極的な対策を講ずる 2. 塵埃対策として切断作業中はミスト状の水を散布する 3. 未使用の扉はダクトテープ（米軍が第二次大戦中に弾薬ケースの防湿密封用として開発した粘着力が強く耐水性に優れた銀色のテープで，冷暖房のダクトや配水管などの補修に使われる）で密閉する 4. 換気口を密閉し遮断する作業区画出入り口に塵埃対策のマットを敷く 5. 作業中は空調装置を撤去するか隔離する	1. 作業空間の表面を消毒薬で清拭する 2. 建築廃材はしっかりと密閉可能な容器に収納すること 3. 作業区画を立ち去る前にウエットモップでの清拭や HEPA フィルタによる空気のろ過を行う 4. 作業実施区画における空調装置の被覆物を撤収する
クラスⅢ	1. 作業中は配管系が汚染しないように空調装置を撤去するか隔離する 2. 非作業領域から隔離するために石膏ボード，ベニヤ板，プラスチック製品で密閉するか，またはコントロール・キューブ法[control cube method](囲いをプラスチック製のシートで覆い，HEPA フィルタろ過により排気を行う方法)により重要なバリアの設置を工事前に完了しておく 3. HEPA フィルタろ過機能を有したユニットを使用して作業現場を陰圧に維持すること。しっかりと密閉可能なコンテナに建築廃材を収納する 4. 輸送用容器やカートにカバーをかぶせること。輸送容器の蓋は硬質素材でない場合はテープで固定しておく	1. 作業現場に設置されたバリアは所有者の安全部門と感染対策部門の監査を受け，かつ所有者の環境清掃部門による徹底した清掃を終えるまで外してはならない 2. 作業現場に設置されたバリアの素材は建築に伴う汚れや瓦礫の広がりを最小限にするために慎重に撤去する 3. HEPA フィルタを介した吸引装置を用いて作業現場を吸引する 4. 消毒薬を用いて湿式清掃を行う 5. 作業区画における空調システムの保護カバーを外す

クラスⅣ	1. 配管系が汚染されるのを防ぐために，作業区域内の空調設備を隔離する 2. 非作業領域から隔離するために石膏ボード，ベニヤ板，プラスック製品で密閉するか，またはコントロール・キューブ法[control cube method](囲いをプラスチック製のシートで覆い，HEPA フィルタろ過により排気を行う方法)により重要なバリアの設置を工事前に完了しておく 3. HEPA フィルタを備えた空気ろ過システムを利用して作業現場を陰圧の状態に保つこと 4. 穴，パイプ，配電管等を閉じ，適切に穴あけ作業を行う 5. 作業区域から出て行く際には HEPA フィルタを用いた集塵器により塵埃を除去できるよう前室を設置しここを通過するよう義務づける，あるいは作業中は布製や紙でできた服を着用し作業区画から出る際にはその服を脱ぎ捨てる 6. 作業区域に立ち入る者は全員シューカバーを装着すること。作業者が出る際にはその都度このシューカバーを交換する 7. 作業現場に設置されたバリアは所有者の安全部門と感染対策部門の監査を受け，かつ所有者の環境清掃部門による徹底した清掃を終えるまで外してはならない	1. 建築に伴い発生した汚れや残骸を広げないように注意しながら除塵カバーを除く 2. しっかりと密閉された容器に建築廃材を収納すること 3. 輸送用容器やカートにカバーをかぶせること。輸送容器の蓋は硬質素材でない場合はテープで固定しておく 4. HEPA フィルタを介した吸引装置を用いて作業現場を吸引する 5. 消毒薬を用いて湿式清掃を行う 6. 作業区域における空調システムの保護カバーを外す